

1 後期高齢者を対象とした事業実施計画

(1) 個別的支援

健診結果や通いの場で実施した質問票の結果から、国の基準に基づき抽出し、優先順位の高い者に対し健康課の医療専門職より個別支援を実施。

① 健診結果

(ア)抽出条件

栄養	「BMI 20以下」で、下記に該当する方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 75歳 … 1年で3kg以上減少 ・ 76歳以上… 「半年で2～3kg以上減少」または1年で2kg以上の体重減少 ・ 「外出頻度」「他者との交流」「ソーシャルサポート」のいずれかに障りがある
口腔	「固いものが食べにくい」又は「むせる」方のうち、下記に該当する方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 過去1年間歯科受診なし ・ 「BMI 20以下」かつ「半年で2～3kg以上減少」または1年で2kg以上の体重減少
運動機能	低栄養が疑われる ^{※1} 方または過体重の方 ^{※2} のうち、下記に該当する方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「歩行速度が遅くなった」かつ「転倒あり」 又は「歩行速度が遅くなった」かつ「健康状態があまりよくない・よくない」 ・ 「心の健康」「外出頻度」「他者との交流」「ソーシャルサポート」のいずれかに障りがある <p>※1 「BMI 20以下」かつ「半年で2～3kg以上減少」または1年で2kg以上の体重減少</p> <p>※2 「BMI 30以上」</p>

(イ)想定人数^{※1}

(人)

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	計
栄養	70	86	65	78	36	72	407
口腔	42	51	51	54	25	57	280
運動	46	53	44	69	36	70	318
実人数	116	137	120	150	69	150	742 ^{※2}

※1 令和4年度の健診結果より算出

※2 実人数の合計

② 通いの場

(ア)抽出条件

栄養	「BMI 20以下」で「半年で2～3kg以上減少」した方
口腔	「固いものが食べにくい」又は「むせる」方のうち、過去1年間歯科受診のない方
運動機能	「歩行速度が遅くなった」かつ「転倒あり」の方、又は「歩行速度が遅くなった」かつ「健康状態がよくない」方

(イ)想定人数^{※1}

(人)

	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	計
栄養	17	11	28	7	17	16	96
口腔	24	20	36	10	24	29	143
運動	46	45	62	20	46	42	261
実人数	87	72	117	35	87	73	471 ^{※2}

※1 令和5年度支援対象者数

※2 実人数合計

③ 健康状態不明者

(ア)抽出条件

前々年度、前年度に下記①～③に該当し、令和5年度末年齢が76、80、85、90、95歳の方

- ① 健診受診なし
- ② レセプト（入院・外来・歯科）履歴なし
- ③ 要介護認定なし

(イ)想定人数[※]

(人)

	花見川区	稲毛区	若葉区	美浜区	計
対象者数	145	121	145	116	527

※令和5年度対象者数

(2) 通いの場等への関与

- ① フレイル予防の普及啓発
- ② 通いの場の参加者の状態把握

2 事業実施における目標・指標

(1) 目標

健康寿命の延伸

在宅で自立した生活が送れる高齢者の増加

(2) 評価

①共通する評価

評価指標	内 容
ストラクチャー評価	<ul style="list-style-type: none">・KDBの分析ができたか。・実施に必要な予算が確保できたか。・必要な人員が確保できたか。（予算計上の数と実際に雇用できた人数）・関係機関（あんしんケアセンター・健康課等）との連携が取れたか。・医師会・歯科医師会・薬剤師会等との連携が取れたか。
プロセス評価	<ul style="list-style-type: none">・対象者の抽出を行うことができたか。・個別支援（訪問・電話等）が円滑に実施できたか。・必要に応じ受診勧奨ができたか。
アウトプット評価	<ul style="list-style-type: none">・支援実施人数、割合

短期的アウトカム 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・健康課題の解決状況 ・健康課題解決のための行動目標の定着状況 ・適切なサービスにつながった割合
----------------	--

② 個別的支援

項 目	栄 養
目 標	低栄養になった原因を把握し本人が目標を設定する。 目標に向けた支援を行い、低栄養の状態を改善し介護予防・QOL向上を目指す。
実施方法	別紙 個別的支援プログラムのとおり
短期的アウトカム 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・体重の支援前後の変化 ・必要な食事摂取の理解度と食事摂取量の支援前後の変化
長期的アウトカム 評価	・体重が維持・改善できた者の割合

項 目	口 腔
目 標	口腔機能を改善し、オーラルフレイル予防を目指す。
実施方法	別紙 個別的支援プログラムのとおり
短期的アウトカム 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・オーラルディアドコキネシス（巧緻性・構音の評価）の支援前後の変化 ・プラークスコアの支援前後の変化 ・舌苔スコアの支援前後の変化 ・食べやすさ（噛みやすさ、飲み込みやすさ）が改善した人数
長期的アウトカム 評価	・質問票4（咀嚼機能）、5（嚥下機能）に該当しなくなった者の割合

項 目	運 動
目 標	フレイルリスクのある者を早期に発見し、転倒予防や要支援要介護状態を予防する。
実施方法	別紙 個別的支援プログラムのとおり
短期的アウトカム 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導により意識的に継続して体を動かすようになった人数 ・外に出る回数の支援前後の変化 ・動きやすさが改善した人数
長期的アウトカム 評価	・質問票1（健康状態）・質問票7（歩行速度）・質問票8（転倒）に該当しなくなった者の割合

項目	健康状態不明者
目標	健康状態不明者に対してアウトリーチ支援等を行い、健康相談、適切なサービスへの接続等により、健康の保持増進を目指す。
実施方法	別紙 健康状態不明者に関するプログラムのとおり
アウトプット評価	<ul style="list-style-type: none"> ・現状把握ができた者への支援人数・回数・割合 ・支援を要した者への支援人数・回数・割合 ・サービス別の紹介件数
短期的アウトカム評価	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、介護サービスへつながった者の割合
長期的アウトカム評価	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態不明者の減少 ・健診受診率の上昇

③ 通いの場等への関与

項目	内容
目標	フレイル予防の普及啓発・高齢者質問票の活用や計測により、フレイル予防の必要性を自分事としてとらえ、日々の生活習慣の改善に活かすことにより介護予防・健康寿命の延伸を図る。出張相談やイベントなどにより、無関心層にもアプローチすることにより、健康意識の変化のきっかけとする。
ストラクチャー評価	<ul style="list-style-type: none"> ・通いの場運営者や関係者・関係機関との情報共有等連携・協力が図れたか ・通いの場への支援数は十分であったか
プロセス評価	<ul style="list-style-type: none"> ・周知内容・方法は適切か ・プログラム・教材内容は目標を達成するのに適切か（アンケート） ・運営者・リーダーのモチベーションを高めることができたか（アンケート） ・関係者との情報共有はできたか（実施前後の打合せ等）
アウトプット評価	<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育実施数、参加者数 ・健康相談実施数、参加者数 ・質問票、体力測定実施数 ・継続支援が必要な者の人数と支援につながった人数
長期的アウトカム評価	<ul style="list-style-type: none"> ・質問票1（健康状態「あまりよくない」「よくない」）に該当しなくなった者の割合